# 2021年度

# 授業概要

科目名	臨床歯科医学・口腔外科学Ⅱ						授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15	口	時間数	30	時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年	前期

【授業の目的・ねらい】

摂食・嚥下障害の臨床像を理解し、評価・訓練の実際を習得する。

### 【実務者経験】

#### 【授業全体の内容の概要】

摂食・嚥下障害の臨床像について理解し、それに対する評価法と訓練法を学び、言語聴覚士の役割と課題について考える。

# 【授業終了時の達成課題(到達目標)】

摂食・嚥下障害の評価診断と治療についての知識と技術を習得する。

回数	講義内容	準備物(教材)
1	摂食・嚥下障害の障害像の理解を深める	
2	摂食・嚥下障害の評価法(1)	
3	摂食・嚥下障害の評価法(2)	
4	評価演習(1)	
5	評価演習(2)	
6	嚥下訓練:間接訓練の理論	
7	間接訓練演習	
8	嚥下訓練:直接訓練の理論	
9	直接訓練演習	
10	嚥下食について理解を深める	
11	嚥下食の実習	
12	臨床的なチームアプローチについて	
13	チームアプローチ演習	
14	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーション	
15	まとめ	
V /	定期筆記試験	

## 【使用教科書・教材・参考書】

## 【準備学習・時間外学習】

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。

試験は定期試験のみ実施とし、

60点以上の場合に科目を認定する。